

セブ島で 英語を勉強 しませんか？

Why don't you study English in Cebu?

がんばる
学生さんを
応援します！



海外研修でのマンツーマンレッスンのようす

市では、国際化時代にふさわしい広い視野と国際感覚を持つ人材を育成するため、深喜人材育成基金を活用し、青少年の海外派遣研修を行っています。本年度も、日本から近いフィリピン・セブ島の語学学校で、短期間の集中英語研修を行います。

セブ島はフィリピン最古の歴史を誇り、一年中温暖な気候と自然に恵まれた環境です。治安も比較的安定しています。その島内にあるイングリッシュ・フェラ (English Fellow) 校で、8日間の語学研修を受けてもらいます。

同校は、英語が話せないアジアの学生に、第2の言語として英語を教えるセンターです。構内にはプールや図書館など多くの施設が併設されています。セブ島は同じ敷地内にある寮に滞在し、他国から英語を学びに来ている同年代の学生との交流を通じ、異文化に触れ、語学力の向上と国際感覚を養う体験をしてみませんか。

市では、国際化時代にふさわしい広い視野と国際感覚を持つ人材を育成するため、深喜人材育成基金を活用し、青少年の海外派遣研修を行っています。本年度も、日本から近いフィリピン・セブ島の語学学校で、短期間の集中英語研修を行います。

セブ島はフィリピン最古の歴史を誇り、一年中温暖な気候と自然に恵まれた環境です。治安も比較的安定しています。その島内にあるイングリッシュ・フェラ (English Fellow) 校で、8日間の語学研修を受けてもらいます。

同校は、英語が話せないアジアの学生に、第2の言語として英語を教えるセンターです。構内にはプールや図書館など多くの施設が併設されています。セブ島は同じ敷地内にある寮に滞在し、他国から英語を学びに来ている同年代の学生との交流を通じ、異文化に触れ、語学力の向上と国際感覚を養う体験をしてみませんか。

研修校 セブ島のイングリッシュ・フェラ

派遣期間 平成24年3月18日(日)～25日(日)の8日間(出発までに説明会などを予定)

海外派遣研修の概要

申込方法 市役所4階企画調整課にある所定用紙により、申込

受付期間 年1月6日(金)

5定められた日程・旅行条件で参加できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出

申込書の「保護者承諾欄」以外はすべて申込者自筆のこと。

また、作文テーマは「研修で学びたいこと」(400～800字程度)とします。

※申請書類は市ホームページでもダウンロードできます。

提出方法 企画調整課まで持参(土・日曜日、祝日を除く午前8時45分～午後5時15分)

問合 企画調整課(市役所4階)

募集人数 22年度個人負担は9万円程度

旅行代金 市が半額助成(平成22年度個人負担は9万円程度)

応募資格 市内在住の平成3年4月2日～平成9年3月18日生まれ(渡航日現在で満15歳以上20歳以下)の人で、次の条件を満たす人

①心身ともに健康で、海外での研修生活に耐えうる体力を有すること

②協調性に富み、規律ある団体行動に適応できること

③説明会および帰国後の報告会に出席できること

④未成年者の場合は、保護者の同意が得られること

⑤定められた日程・旅行条件で参加できること

⑥申込用紙により、申込

書・作文を提出



泉大津市の職員数や給与について お知らせします。

1. 職員の任免に関する事項

(1) 採用および退職の状況

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

職種	採用(人)	退職(人)
一般行政職	7	8
税務職	4	1
医師・歯科医師職	14	11
看護・保健職	32	16
薬剤師・医療技術職	2	0
福祉職	2	4
消防職	3	1
企業職	0	0
技能労務職	0	7
教育職(幼稚園)	1	5
その他教育職	0	4
計	65	57

※職種区分は、地方公務員給与実態調査の調査要領によるものです。

(2) 部門別職員数の状況と主な増減理由(各年 4 月 1 日現在)

部門	区分		職員数(人)	対前年	主な増減理由
	平成 23 年	平成 22 年	増減数		
普通会計部門	議会	6	5	1	業務の増加による増
	総務企画	75	75	0	
	税務	24	24	0	
	民生	100	103	△3	欠員不補充による減、事務の増加による増
	衛生	22	20	2	業務の増加による増、欠員不補充による減
	労働	3	3	0	
	農林水産	1	1	0	
	商工	3	3	0	
	土木	36	35	1	業務の増加による増
	計	270	269	1	<参考>人口 1 万人あたりの職員数 35.4 人
教育部門	教育部門	71	79	△8	欠員不補充による減、事務の増加による増
	消防部門	85	83	2	欠員補充による増
	小計	426	431	△5	<参考>人口 1 万人あたりの職員数 56.0 人
	病院	292	289	3	法令基準の充足による増
公営会計部門等	水道	23	22	1	業務の増加による増
	下水道	16	16	0	
	その他	26	27	△1	法令等の改廃による減、業務の増加による増
	小計	357	354	3	
	合計	783	785	△2	<参考>人口 1 万人あたりの職員数 102.8 人

※職員数は一般職に属する職員数で、教育長、臨時および非常勤職員を除いています。〔 〕内は、条例定数の合計です。

2. 職員の給与の状況

(1) 人事費の状況

① 普通会計決算

区分	住民基本台帳人口(22 年度末)	歳出額(A)	実質収支(千円)	人件費(千円)	人件費率(B/A)	(参考) 21 年度の 人件費率
22 年度	76,251 人	28,515,264 千円	105,066 千円	4,563,757 千円	16.0%	17.1%

※人件費には児童手当、子ども手当を含みません

② 水道事業会計決算

区分	総費用(A)	純損益または実質収支(千円)	職員給与費(B)	総費用に占める職員給与費比率(B/A)
22 年度	1,649,203 千円	5,697 千円	176,696 千円	10.7%

(参考) 21 年度の総費用に占める職員給与費比率 10.2%

※職員給与費には児童手当、子ども手当を含みません

(2) 職員給与費の状況

① 普通会計決算

区分	職員数(A)	給与費			一人当たり給与費(B/A)	
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
22 年度	426 人	1,616,185 千円	382,298 千円	628,764 千円	2,627,247 千円	6,167 千円

(注 1) 職員手当には退職手当、児童手当、子ども手当を含みません

(注 2) 職員数は、平成 23 年 4 月 1 日現在の人数です

② 水道事業会計決算

区分	職員数(A)	給与費			一人当たり給与費(B/A)	
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
22 年度	22 人	92,117 千円	18,446 千円	35,704 千円	146,267 千円	6,649 千円

(注 1) 職員手当には退職給与金、児童手当、子ども手当を含みません

(注 2) 職員数は、平成 23 年 3 月 31 日現在の人数です

(3) 給与の抑制

現在市では、次のような給与の抑制を行っています。

① 特別職

項目	内容	期間
給料	12~8% の減額	平成 20 年 11 月 1 日から 平成 24 年 9 月 30 日まで

② 一般職

項目	内容	期間
管理職手当	10% の減額	平成 19 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで

※職員数は一般職に属する職員数で、教育長、臨時および非常勤職員を除いています。〔 〕内は、条例定数の合計です。

本市では、泉大津市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例を制定し、毎年 12 月に前年度における本市職員数や、職員の給与といった職員に関する情報を、市民の皆さんに公表しています。今回の内容は、平成 22 年度の内容ですが、紙面の関係上、抜粋して掲載しました。詳しい内容については、市役所 4 階の情報公開コーナーで閲覧できるほか、市のホームページでも閲覧できます。内容についての問い合わせは人事課(市役所 4 階)へ。

(4) 職員の平均年齢、平均給料月額および

平均給与月額の状況(平成 23 年 4 月 1 日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
泉大津市	43.7 歳	335,749 円	418,455 円
			390,282 円

② 企業職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
泉大津市	46.8 歳	356,154 円	422,967 円
			413,911 円

※「平均給料月額」とは、平成 23 年 4 月 1 日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です

※「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当などの諸手当の額を合計したものです。上段はこれら全ての諸手当込みのものです。また、下段は、時間外勤務手当、特殊勤務手当などを除き国と比較するため再計算したものです

(5) 職員の初任給の状況(平成 23 年 4 月 1 日現在)

区分	泉大津市初任給
一般行政職	大学卒 185,800 円
	高校卒 155,700 円

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成 23 年 4 月 1 日現在)

区分	経験年数 10 年	経験年数 15 年	経験年数 20 年
一般行政職(大学卒)	252,800 円	294,300 円	333,025 円

(7) 一般行政職の級別職員数の状況(平成 23 年 4 月 1 日現在)

